

金融と不動産を一つの力に—— 人と地域の未来を支える不動産会社



藤川不動産 株式会社

大阪府八尾市末広町 3-2-19-101

URL : <https://fujikawa-fudousan.com/>

大阪府八尾市を拠点に、不動産仲介や資産形成の支援を手掛ける『藤川不動産』。金融機関と不動産会社でキャリアを蓄積した藤川社長は、両分野の知識を融合し、融資を含めた多角的な提案で顧客の選択を支えている。地域に根差す会社づくりへの想いに、タレントの市井紗耶香さんが迫った。



interviewer
市井 紗耶香



interview

代表取締役
藤川 翔也



——藤川社長のこれまでのご経歴からお聞かせいただけますか。

大学卒業後、金融機関に就職し、8年近く法人営業に携わりました。担当先の多くが不動産会社で、物件の決済に立ち会う機会も多かったんです。仕事を通じて不動産業に魅力を感じる一方、29歳で自宅を購入し、第二子の誕生を控えていたころ、自分の将来を改めて考えるようになりました。それで30歳を前に金融機関を退職し、不動産会社へ転職したんです。約3年間経験を積み、2025年に当社を設立しました。

——安定した環境を離れて新たな道へ進む決断を、何が後押ししたのでしょうか。

高校時代の野球部のコーチから、いつも「生まれ変わるなら、生きているうちに」と言われていたんです。死んでからでは遅い、変わりたいなら今動けという教えで、その言葉が決断を後押ししてくれました。独立に不安はなく、100%できるという自信がありましたね。妻には転職も独立も事後報告でしたが、反対せずについてきてくれました。心配もあったと思いますので、本当に感謝しています。

——御社を立ち上げるに当たり、どのような会社になりたいと考えられたのですか。

大切にしているのは「仁」の心です。思いやりや慈しみを表す言葉で、子ども

たちの名前にもこの字を入れています。人を思いやり、周囲からも大切にしたいだけの会社にしたいという願いを込め、ロゴにも「仁」の字をデザインしました。また、「金融と不動産で、すべての人に幸せを」をモットーに掲げています。目先の利益だけを求めず、売り手、買い手、地域の皆さんにとって良い取引を考え、長く頼っていただける存在を目指しています。

——金融と不動産の両面から相談できることは、大きな安心につながりますね。御社ならではの提案について、詳しくお聞かせください。

金融機関では預金、融資、為替、証券、保険まで幅広く担当してきました。金融と不動産は深く結び付いており、金利の動きによって不動産の価格や購入のタイミングも変わります。当社では物件を紹介するだけでなく、お客様の資金状況を踏まえた融資や資産形成についてもご提案できます。不動産と金融の両方に精通した立場から、売り時や買い時を一緒に考えられることが強みです。ただ、知識だけで信頼を得られるわけではありません。高額な資産を扱う仕事だからこそ、直接お会いし、細かな気遣いを重ねながら、人と人との関係を築くことを何より大切にしています。

——最後に、今後の夢や目標をぜひお聞かせください。

まずは八尾の皆さんに愛され、地域に貢献できる会社になりたいです。はじめは縁もゆかりもありませんでしたが、八尾で暮らす中で少しずつこの街に愛着を持つようになりました。金融と不動産の知識を地域の方々へ還元し、困った時に最初に相談していただける存在を目指したい。そして、いつか子どもたちに会社を継いでもらえるよう、地域に長く必要とされる会社へ育てていきたいです。

(2026年7月取材)



「金融機関にお勤めのころから、取引先で『藤川不動産が来た』と呼ばれていたという藤川社長。人との距離を縮める力と、金融・不動産の知識を併せ持つ社長だからこそ、相談される方も心強いでしょうね。八尾で頼られる存在として、さらに信頼を広げていってください！」 市井 紗耶香・談